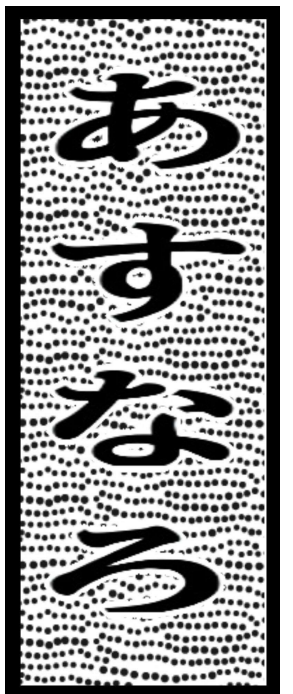


大会基本方針 石川県をてんこ盛りに

いしかわ総文 第2回生徒準備委員会 次回で決定へ



第2回 石川県総文 生徒準備委員会

発行 石川県高等学校文化連盟 新聞専門部



第2回生徒準備委員会で顔を合わせて座る

石川と総文への思いをぶつける

石川県の特色から大会基本方針へ

4年後に行われる第51回全国高等学校総合文化祭いしかわ大会に向けて早くも準備を始めている。生徒準備委員会は各文化部から代表者を集め、総文に向けて計画を立てるために設立されたものであり、今回はその第2回である。



石川県について相談し合う

10月18日に第2回生徒準備委員会がリファール金沢にて行われた。今回は、総文の意義などについて全員で確認した後、第1回と同様の4つの班に別れて石川県はどんなところかについてディスカッションした。その後、それをもとに大会基本方針について考えた。石川県がどのようなところかについてのディスカッションでは、金箔や海の幸などの名産品の他、慎重で忍耐力のある県民性や、温かみのある石川の方言といった石川県の特色についても話が挙げられた。

大会基本方針発表の時

生徒自己紹介

参加者が輝ける土台を

第2回生徒準備委員に参加している生徒の内、6名にインタビューした。生徒自己紹介は次号でも掲載予定だ。

9月15日には第1回生徒準備委員会が行われた。生徒らは自己紹介を行い、石川県はどのようなところかを4つのグループに分かれ、自由に話し合った。最後には話し合いの結果まとめ、それぞれ考えたテーマを全体に向けて発表した。二水高校の山本実先生に

分野を越えて 生徒らが作り上げる

よると、全国総合文化祭の「総合」という言葉には、他県や国際交流、他専門部とのコラボレーション、特別支援学校生との協働など、さまざまな部門との交流を意味しているという。また「文化祭」には、生徒らが企画・運営し、参加者とともに作る「フェスティ



話し合った内容を発表する

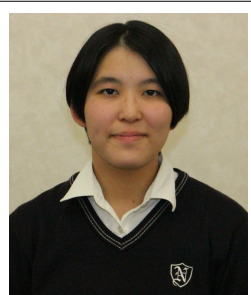
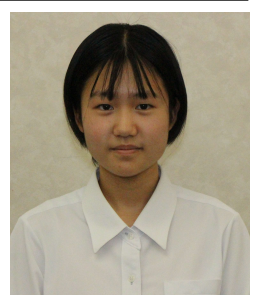
もに代表者が次回の第3回生徒委員会までに大会基本方針の最終案を作り、本格的に決定する予定だ。

今後の活動については、今回出た大会基本方針案をもとに代表者が次回の第3回生徒委員会までに大会基本方針の最終案を作り、本格的に決定する予定だ。



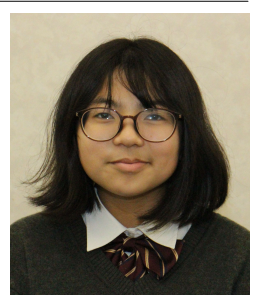
○半田優子さん
金沢辰巳丘高校美術工芸部
先輩から作品を通して多くの総文のことを聞いていたので、自分も力になりたいと思い参加を決意した。伝統文化を守り続けてくれた方々を忘れず、それを守れるような総文にしたい。

○板井愛友美さん
金沢桜丘高校新聞部
高校で新聞部を選んだことでしか得られない思いを作するために、参加を決意した。来て下さる方全員が楽しめるような総文にできるように精いっぱい頑張りたい。



○元沙紀子さん
金沢二水高校合唱部
顧問の先生からの推薦を受け自分も携わってみたいと思いましたが、石川県で久しぶりに行われる総文なので、高校生が魅力を発揮し、楽しめる土台を私たちが作りたい。

○川本綾乃さん
野々市市倫倫高校演劇部
学校で募集されていたので、自分の力を生かしたいと思い参加した。色々な高校の初めての部門の人と会うことができるのが楽しかったです。自分にできることを精いっぱい頑張りたい。



○松澤歩花さん
金沢錦丘高校文芸部
顧問の先生に誘いを受けて参加を決めた。総文自体には参加できないが、爪痕を残せるように頑張りたい。総文のキャラクターがどのようなものになるか楽しみです。

○片岡日和さん
穴水高校弁論部
今年のかごしま総文に行ってみて、とても楽しい思いができたので、石川でも全員が楽しめるような総文を作りたいと思いが強まりました。総文のテーマ曲がとても楽しみです。



編集後記

今回のあすなるでは、4年後のいしかわ総文に向けて計画を立てている第2回生徒準備委員会について特集しました。この新聞は、石川県高等

方針や3つのキーワードに基づいて、イメージカラーやイメージソング、イメージキャラクターが決定されていく予定だ。

学校文化連盟新聞専門部を代表して、金沢泉丘高校新聞部が制作しました。今回の取材にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

《編集委員》
田中 大智 藤井 小春
真柄 純 (泉丘)